

マグネシウムでエネルギー自給を！ マグネシウム公開セミナー

「Mg-Day in KUMEJIMA」(主催：Mg循環社会推進協議会)が4月3日具志川改善センターで行われました。会では、一般の方や研究者、高校生・大学生などを対象にマグネシウム循環型社会の可能性について公開セミナーが行われました。東京工業大学の和田教授は、マイクロ波による新しいMg製錬について講演し、公開ディスカッションでは、マグネシウム分野でトップの研究機関代表者や企業の代表者などに大田町長も加わり、活発な意見交換が行われました。



沖縄タイムス教育賞受賞 西銘老人クラブ

学校現場や地域における優れた教育実践や研究を顕彰する第56回沖縄タイムス教育賞に西銘老人クラブが受賞し、3月27日大田町長へ報告に訪れました。西銘老人クラブは大岳小学校の放課後子ども教室において月1回程度、様々な体験活動を提供しています。昔のおもちゃ作りやむーちーづくり、ジャガイモの植え付けや収穫など、平成20年から11年間活動をつづけ、子どもたちに感動や驚きの体験を与えています。会員たちは口をそろえて「私たちは子どもたちが好きだから続けられる」と話していました。



地域活性化への助言を！

沖縄振興開発金融公庫と助言業務提携

町は沖縄振興開発金融公庫(以下沖縄公庫)と「久米島町地域開発プロジェクト助言業務に関する協定」を締結する調印式を4月10日に行いました。この協定により、これから「まちづくり」の取り組みに際し、プロジェクトの構想段階から沖縄公庫に蓄積された金融のノウハウを活用することが可能となります。これまでに沖縄公庫は同協定を県内17市町村と結んでおり、県内企業の展開支援や沖縄振興に寄与する地域プロジェクトの推進を支援しています。



仲村渠・儀間駐在所開所式

仲村渠駐在所と儀間駐在所の建替え工事が終了し、開所式が4月12日に具志川改善センターで行われました。式典は崎原那覇警察署長や生活安全部長などが出席し、各区長や民生員などが参加。式終了後は、儀間駐在所、仲村渠駐在所へ看板掲揚が行われました。新しい駐在所は来訪者が気軽に相談できるようにコミュニティールームも設置されています。



認知症を見守り、安全を支援

那覇警察署と協定

認知症高齢者の安全確保を目的に、那覇警察署と「認知症高齢者等の見守り及び安全支援に関する協定」が結ばれました。4月12日に具志川改善センターで調印式が行われ崎原那覇警察署長と大田町長がそれぞれ協定書にサインしました。これにより認知症高齢者の行方不明時の迅速な対応などを、行政機関と警察が相互に連携して取り組むことができ、認知症高齢者やその家族の安全な暮らしの確保が期待できます。



久米島のキレイな海をいつまでも

(株)ハローズより海を守る会へ

(株)ハローズより久米島の海を守る会へ寄付金が贈呈されました。これは(株)ハローズが販売するモズクの商品1パックにつき0.3円を積み立て、久米島の環境保全や啓蒙活動などに使用して欲しいと2年前から寄付を行なっています。今回は、339,106円が贈呈されました。久米島の海を守る会会長の田場さんは「将来の子どもたちのためにも久米島の海を守る活動を続けていきたい」と感謝とともに決意を述べました。



大田昌秀さんの想いを後世へ

(6月22日) シンポジウム開催決定

4月9日、大田昌秀さんを語るシンポジウム実行委員会が那覇市で行われました。町出身の大田昌秀さんの三回忌にあたり、シンポジウムを開催しようと25名の有志で実行委員会(比嘉幹朗委員長)が設立されました。シンポジウムは6月22日に「大田さんは沖縄に何を残したか」というテーマで、講演会やパネルディスカッションを予定しています。92年の生涯をかけて沖縄を研究し、琉球大学教授、国会議員などを歴任した大田さんの想いを次世代へ継承していきたい。

